

病性診断記録簿

術者:

整理番号: 21-151 受付日: 平成 22 年 3 月 31 日 診断名:

畜主氏名・住所 飼養状況 飼育 18 乳牛 3 雄 2 育成 7 子 10
 氏名: 住所: 郡農町 1112 TEL: 所属 開業 氏名 TEL vet

畜種 水牛 品種 品種 性別 ♀ 年齢 成水牛 頭羽数 4
 依頼した理由 異常産 呼吸器病 消化器病 急死 その他 (発熱)

材料の種類 (血液) 糞便 その他 (鼻粘膜) 検査の種類 (細菌) (ウイルス) 生化学 (アミラーゼ)

発生状況・臨床所見・病歴 (ワクチン・治療状況・初乳摂取等を含む)

3/16 から発熱、乳量低下 (搾乳水牛 2 頭) (ニ) 小診。カマイン、ネオア2+スルニ=25
 3/29 には同様の症状が 9 頭に拡大。3/30 には 10 頭に拡大。

3/31 農場立入。搾乳水牛及び雄水牛全頭に症状が拡大。一部下痢。
 食欲が廃絶し、搾乳不能となり、1 個体のみ生存。

3/31 に症状を示した 4 個体は回復している (解熱、食欲回復)。

4/2 PCR、簡易検査結果を Vet に回答 (別紙)
 農場では発熱 (39°C 台) している個体は 1 頭のみ。また食欲不振も続いている。
 飲水欲も少ない。→ ノコギリの影響 (アミラーゼ等) も考慮している。

4/5 vet の TEL: ほとんどの個体は解熱した。食欲もまた回復している。
 (鼻等に) 細菌が検出された。ノコギリはアミラーゼが原因と疑われる。

各種検査成績	No.1 536 (39.7°C)	No.2 618 (39.2°C)	No.3 618 (38.2°C)	No.4 534 (38.5°C)
4/14 post 血清 No.3 のみ採材	No.1 38.7°C			
	No.3 38.5°C			
床敷にカマクサをいれて、 いつもとは別の大工が掃き、 新しいカマクサに交換した後、症状 を示した。(ニ) アリ駆除剤が入っていた。 子牛も汚染が流染。 カマクサをすべて交換 熱は 3 日程度ひく。	No.1 No.2 No.3 No.4 血液 0 0 0 0 鼻粘膜 0 0 0 0 糞便 0 0 0 0			
乳量の回復した水牛もいるが、乳質が 変わっている (脂肪分が少ない) 以前と比べてやや粗毛	No.1 536 (39.7°C) No.2 618 (39.2°C) 水牛下痢 アミラーゼ 20 (ネオア25 20μl)=25 No.3 618 (38.2°C) No.4 534 (38.5°C) カマイ 20 (3/31) 3/30 40.0°C (アミラーゼ 20 ネオア25+スルニ=25)			











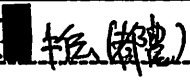





4/21 11r + 育成子 1 頭 (両方)

所長	副所長	管理飼料課長	検査課長	主幹・副主幹	課員
年月日	平成23年 3月 31日			水曜日	天気 <67
病性鑑定・病性診断受付	鑑定				
	診断	21-150 21-151			
業務内容	細菌	21M-121 21M-125 21T-25-③) 既判定 21-150 21-151			
	病理				
	ウイルス	細胞継代 IBDエライサ" プレート作製 (MDBK, BFM) 乳劑作製 21-150, 21-151 PCR (Ad-9 first, pCo)			
	生化学	21-141 = VE			
	BSE	NK 13			
出張	課長			ウイルス	新東町 着地検査
	主幹・副主幹				
	細菌	(新東町) 着地検査		生化学	
	病理	(新東町) 着地検査		BSE	
時間外勤務	課長			ウイルス	
	主幹・副主幹				
	細菌			生化学	
	病理			BSE	
その他					

新東町
着地検査

新東町
着地検査

新東町

所長	副所長	管理飼料課長	検査課長	主幹・副主幹	課員
				 	 
平成22年 4月 14日		水曜日	天気	〈6〉	 
病性鑑定・病性診断受付	鑑定				
	診断				
業務内容	細菌	22M-2 22-17 台帳整理			
	病理	鏡検 22M-1, 22T-1 成績書作成 22M-1			
	ウイルス	細胞培養代、日本肺炎HI試験判定、プレート作製 (CMD, BK-SY, BFM) PCR (BEV)、TE=タリマ" 鶏卵回収、種代、HA			
	生化学	VE、VA測定 (中) 済 (給与) 水牛血液生化学試験			
	BSE	NK10 公用車点検 (2号車)			
出張	課長			ウイルス	 
	主幹				
	副主幹	牛伝 (都農) 		生化学	
	細菌				
	病理	牛伝 (都農) 		BSE	
時間外勤務	課長			ウイルス	
	主幹				
	副主幹			生化学	
	細菌				
	病理			BSE	
その他	  来所、缶受箱取り付け				

不明疾病の現地調査表について (病鑑No.7)

農場住所：児湯郡都農町大字川北 [REDACTED] (1例目の発生農場から約600m)

氏名：[REDACTED]

飼養頭数：水牛42頭
豚2頭

経緯：

- 3月26日 搾乳水牛2頭が発熱・乳量低下により、獣医師が診療。
2～3日後同様の症状が拡大(流涎や口内炎、乳房の皮膚の剥離が一部みられていた)
- 3月31日 獣医師からの依頼で家畜保健衛生所が立入。
・搾乳水牛及び雄水牛全頭に症状が拡大し、食欲廃絶で搾乳不能になった個体が多く、一部下痢を確認。
・この時点で口蹄疫の症状は認めず、畜主及び獣医師からも申し出はなかったため、3頭の血液・鼻腔スワブ・糞便を採取し、下痢関連ウイルスのPCR検査、ウイルス分離、細菌検査、寄生虫検査を実施。
- 4月2日 PCR検査の結果を獣医師に回答。
- 4月5日 獣医師からほとんどの個体は解熱したが、食欲が回復していない個体の乳房に痂皮が形成されているので、敷料(ノコグズ)によるアレルギーを疑っているとのこと。
- 4月14日 家保が再度立入。3月31日採血した中の1頭を採血。
子牛も泡状の流涎、熱は3日程度で下がる。乳量の回復した水牛もいるが、乳質が変化(脂肪分が減少)し、以前と比べ粗毛。
- 4月21日16時40分 1例目の疫学関連で家保が立入り聴取。
現在、全頭回復しているが、3月31日の聞き取り内容と一部異なる内容があり、口蹄疫を疑う症状があった可能性が示唆。
- 4月22日14時 再度立ち入り5頭の血液を採取。臨床的に異常は認めず。

今後の対応：血液と3月31日に採取の鼻腔スワブ3検体と併せて動物衛生研究所に病性鑑定依頼。スワブのPCR、血清抗体検査の結果をみて、場合によってはプロバング検査を実施する。

飼料購入先：

- ・ [REDACTED] 運輸 オーツヘイ(オーストラリア) チモシー(カナダ)
*中国産の使用なし
- ・ [REDACTED] 商事 トウモロコシ
- ・ [REDACTED] [REDACTED] ロールベール

家畜の導入

- ・ H21年5月オーストラリアから5頭輸入、家保が着地検査を実施。

口蹄疫症状の聞き取りについて

平成22年4月21日(水) 16時40分頃

疫学関連で立ち入り時に [] 聞き取り (農場外、車内で JA 尾鈴 [] 同行)

住所：都農町大字水洗 []

氏名： [] 090- []

飼養頭数：水牛42頭 豚2頭 (乳清の廃棄物処理のために飼養)

牛舎5棟 計42頭

①子牛7頭 ②育成2頭 ③育成5頭 ④乾乳9頭 ⑤搾乳16頭・子牛3頭

聴取事項：

3月末頃、1頭調子が悪くなり、一気に全頭に広がった。21日現在、全頭回復。

症状：よだれ、口内炎、足に異常 (びっこひいている)、エサを食べず乳が搾れない、
乳房の皮膚がめくれた

3月26日 [] 獣医に診療依頼、以降連続して診療

4月初め 宮崎家保に病診依頼 採材 (血液、鼻汁、糞便?)

②育成2頭の牛舎のみ 少し離れた場所にあり、症状なし

この牛舎のみかんなくずを使用しておらず、当初、原因としてかんなくずを疑う?

10日後 宮崎家保 再度採材 (血液?) このとき、全頭症状回復していた。

飼料購入先

・ [] 運輸 オーツヘイ (オーストラリア) チモシー (カナダ)

※ 中国産は使用していない

・ [] 商事 どうもろこし

・ [] ロール

畜舎立入者

・ 高鍋町 [] 獣医

・ その他、一般人が多数出入りしていて、全く把握できていない。

家畜の導入

・ H21年5月 オーストラリアから5頭輸入、着地検査受検

※ 畜主は4月の家保検査時に口蹄疫を否定しているものと思っていた。

※ 畜主は立ち入りの連絡があったため、再検査すると考えていたとのこと。

※ 当日はその他9件の農家 (異常なし) に立ち入り後、JA 職員を農場外の車内に待機させ、 [] 農場訪問。聞き取りのみ。JA [] 職員には本日異常なしと伝え帰庁した。

検体リスト

検体No.	農場識別	血液	鼻腔スワブ	備考
1	34	○		4/22採材
2	35	○		4/22採材
3	40	○		4/22採材
4	29	○		4/22採材
5	548	○		4/22採材
6	雄		○	3/31採材
7	618		○	3/31採材
8	534		○	3/31採材